

三菱換気空清機 **クリアロナイ** 〈壁掛1パイプセパレート取付タイプ〉

形名

VL-100S2-OU (室外ユニット)


据付説明書

販売店・工事店様用

- この製品は住宅用です。それ以外には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。(お客様ご自身では据付けしないでください)
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(無資格者の電気工事は法律で禁止されています)
- この製品はP-100S2-IUとP-100S2-SPとを組合わせて使用するものです。
運転にはシステム部材のコントロールスイッチ (P-1600SWL2またはP-100SL)が必要です。







安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。
次の表示で区分して説明しています。

 警告	 注意
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

 禁止	 風呂・シャワー室での使用禁止
 分解禁止	 指示に従い必ず行う
 水ぬれ禁止	 アース線接続

警告

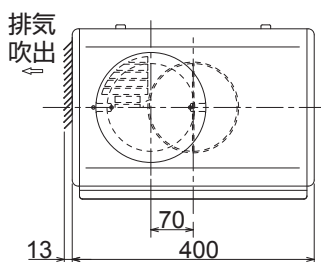
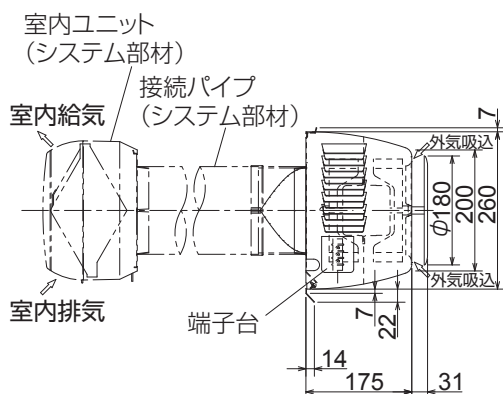
	<ul style="list-style-type: none"> ● 高温となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には据付けない (火災の原因)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 改造や必要以上の分解はしない (火災・感電・けがの原因)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品を水につけたり、水をかけたりしない (火災や感電の原因)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴室など湿気の多いところには本体および壁スイッチを据付けない (感電・漏電の原因)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因) ● 外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ (新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因) ● 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実にを行う (落下によるけがの原因) ● 指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する (接続に不備があると火災の原因) ● 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店 (電気工事士) が安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因) ● 据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因) ● 端子台カバーは電気工事後必ず据付ける (ほこり・湿気などの浸入による漏電・火災の原因)
	<ul style="list-style-type: none"> ● アースを確実に取付ける (故障や漏電のときに感電する原因)

安全のために必ず守ること つづき

⚠️ 注意

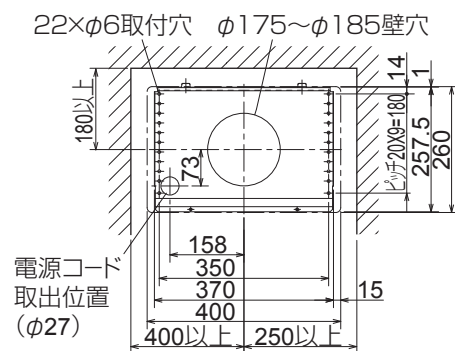
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁据付け専用です。天井には据付けない (落下によるけがの原因)
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 据付けの際は手袋を着用する (けがの原因) ● ひさしやベランダの下に据付けられない場合は、システム部材のウェザーカバーを取付ける (雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因) ● 下記の使用条件を超える地域・場所には据付けない 外気温度：-5~40℃ 本体周囲および還気温湿度：0℃~40℃，相対湿度80%以下かつ最低外気温度条件（-5℃）にて露点温度10.7℃（20℃，相対湿度55%相当）となる絶対湿度以下 使用条件を超えた場合、結露水滴下することがあります。

外形寸法図



■据付位置図

(室外側より見た図)



単位(mm)

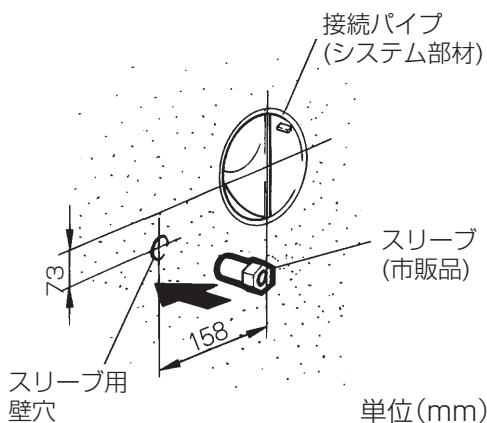
■付属部品

木ねじ (ステンレス) …6本

据付方法

壁穴工事

■据付ける前に接続パイプ (システム部材) が壁穴に取付けられているか確認してください。

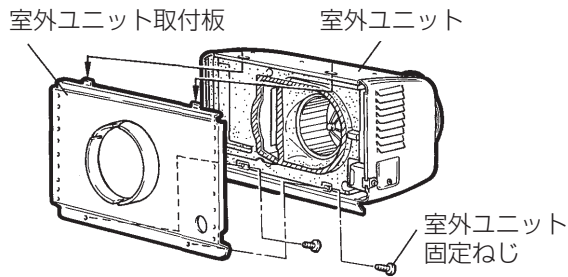


屋内配線 (電源コード) を室外ユニットへ接続するためのスリーブ (お客様手配) を埋込む。

据付方法 つづき

室外ユニットの据付け

1

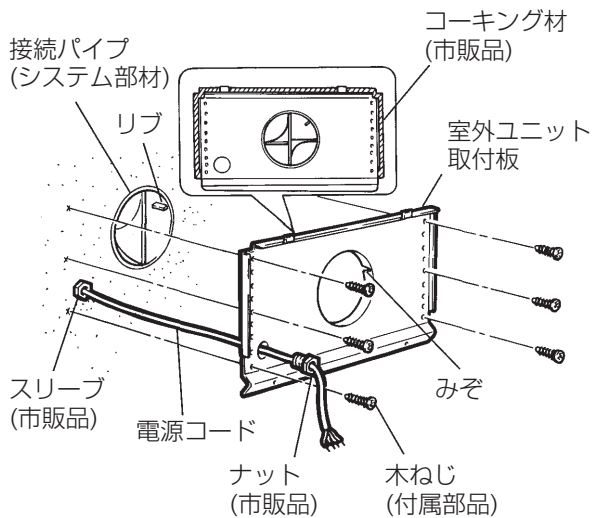


室外ユニット固定ねじ（2本）をはずし、室外ユニット取付板をはずす

お願い

- はずしたねじはなくさないようにしてください。

2



室外ユニット取付板を固定する

- (1) 電源コードを左図のようにスリーブ・室外ユニット取付板・ナット（お客様手配）に通してから室外ユニット取付板および電源コードを固定する。
- (2) 接続パイプ（システム部材）のジョイント側に室外ユニット取付板を差し込む。

お願い

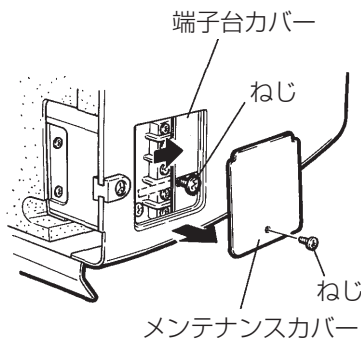
- 室外ユニット取付板は方向性があります。左図のように接続パイプ（システム部材）のジョイント側のリブに室外ユニット取付板のみぞを入れるようにしてください。

- (3) 付属の木ねじ（ステンレス）6本で確実に固定する。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビス（お客様手配）で固定します。

お願い

- 据付壁面が弱い場合は、据付穴位置（壁穴を避ける）に補強材を入れてください。
- (4) 室外ユニット取付板の上部、左右の3か所の外周をコーキングする。

3



メンテナンスカバーと端子台カバーを開ける

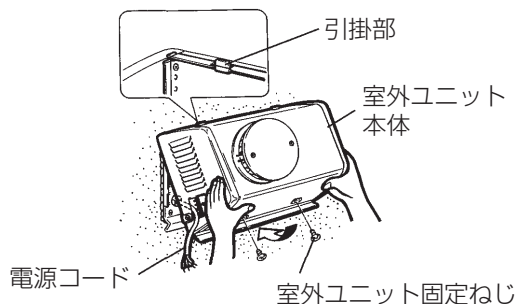
- (1) メンテナンスカバーを締付けているねじ1本をゆるめ、メンテナンスカバーを取りはずす。

お願い

- 取りはずしたメンテナンスカバーとねじは、なくさないようにしてください。

- (2) 端子台カバーを固定しているねじをゆるめ、端子台カバーを右側へスライドさせてあける。

4



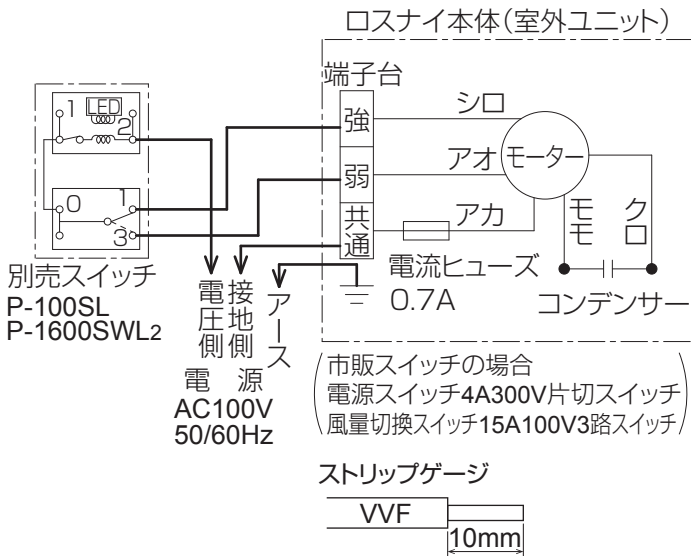
室外ユニットを取付ける

- (1) 取付板からでていた電源コードを室外ユニット内部へ引込む。
- (2) 室外ユニット本体上部の角穴2か所を取付板上部の引掛部にはめ込み、室外ユニット固定ねじ（2本）で確実に固定する。

据付方法 つづき

電気工事

■結線図 ※太線部分は有資格者である電気工事事が施工してください。



1. 配線をする

- ・電源線・連絡電線にはφ1.6またはφ2の単線（例 VVF）を使用してください。
- ・本体取付位置より2mの余裕をもって配線してください。

2. コントロールスイッチ(システム部材)に同梱の据付説明書に従ってコントロールスイッチを取付ける

- ・左表（誤結線防止リード線色確認表）にリード線の色を記入します。

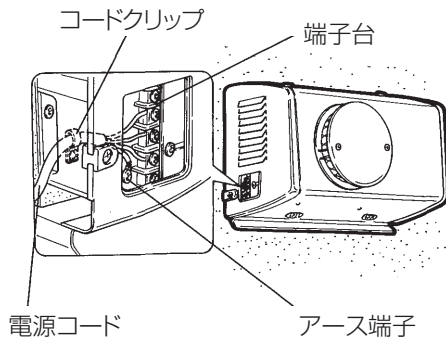
3. 本体端子台に接続する前にスイッチの切換えにより正しい出力がされているか確認する（左表に記入したリード線の色を確認してください）

- ・間違いが発見されたときはすみやかに通電を停止して、結線図に基づき結線をやり直し、再度正しい出力が出るか確認してください。

誤結線防止リード線色確認表

		リード線の色	
コントロールスイッチ	電源スイッチ	2	電源電圧側
	風量切換スイッチ	1	本体端子台「強」
		3	本体端子台「弱」
電源接地側			本体端子台「共通」
アース			本体アース端子

電源スイッチ 風量切換スイッチ	切			入							
	強	弱	アース	強	弱	アース	共通				
リード線 AC電圧出力 [V]	共通	強	弱	共通	強	弱	アース	共通	強	弱	アース
	0V	0V	0V	100V	0V	0V	0V	0V	100V	0V	0V



4. 電源の接続をする

- (1) 結線図に示してあるストリップゲージに合わせて先端10mmの皮むきをし、端子台に確実に差し込みます。
・結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。
- (2) アース端子を使用してアース工事（D種接地工事）を行います。
- (3) 電源コードをコードクリップ（お客様手配：電源コードに合うもの）で固定します。
- (4) 端子台カバーを元通り左側へスライドさせてねじ止めし、メンテナンスカバーを取付けます。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。